

第1学年音楽科学習指導案

平成20年9月19日(金) 第6校時
第1学年C級(男子20名, 女子20名)
指導者 満島 彩香

1 単元 情景と音楽

2 目標

- オーケストラの豊かな響きに興味を持つことが出来る。
- 作曲者や作曲された背景を学習することで曲に対するイメージを膨らませる。
- 演奏にどのような楽器が使われているかを聴き取ることができる。
- 自分なりに曲を解釈して聴くことができる。

3 指導観

- 本単元は、学習指導要領の第1学年の鑑賞の内容(1)ーア「声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想を感じ取って聴くこと」、エ「音楽をその背景となる文化・歴史などとかかわらせて聴くこと」をねらいとして設定したものである。

音楽にはそれぞれ、その曲自体に込められた想いや情景がある。その曲想を感じ取って聴いたり、そこに込められた想いを想像しながら表現したり鑑賞したりすることは、そのこと自体が音楽を楽しむということである。ここでねらいとする「音楽をその背景となる文化・歴史などとかかわらせて聴くこと」は、生徒自身がなぜこういうイメージや感情をもったのかという根拠を、楽器の組み合わせや曲の仕組みの中に探すという行為に繋がっていくということである。このことによって、その曲特有の味わいをつかむことができるようになり、曲にふさわしい表現がどういう表現であるかが分かってくる。また「声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想を感じ取って聴くこと」、は音楽の諸要素の働きを他の構成要素と関連させながら総合的に知覚することである。これは、音楽の感性的側面とかかわらせてイメージ豊かに理解する能力を伸ばし、聴き方を工夫する技能を得ることをねらいとしている。本教材は作曲者のスメタナが故郷への深い愛を音楽で表現した作品である。チェコ国内に流れているブルタバ川の表情の移り変わりをその場面に応じた楽器やメロディで表現してあるので、情景をイメージしながら聴くことができる楽曲である。

- 本学級の生徒は、ヴィヴァルディ作曲「春」、シューベルト作曲「魔王」、で音楽が表現する情景を想像しながら聴く学習はすでに行なっている。またヴィヴァルディ作曲の「春」では弦楽器の各楽器の音色や奏法の特徴をつかむ活動を通して、作曲者の意図を感じ取りながら鑑賞する学習をしている。しかし、まだオーケストラの楽曲を鑑賞する活動は行なっていない。また楽曲の背景となっている地域と作曲者について理解しながら聴くということはこれからの学習によるところが大きい。
- そこで本単元では、教材「ブルタバ」の授業を通して、生徒に自分なりの曲の解釈をしながら聴くことができるようにしたい。

まず、「ブルタバ」の各標題での音楽の情景に使われている楽器や演奏方法、オーケストラの迫力を学習することで、想像豊かに聴く能力を育てたい。また、作曲者の曲に対する想いや作曲された背景を学習することで、生徒によりイメージを膨らませながら「ブルタバ」を聴いてほしい。最後には「モルダウ」全曲を聴く活動を通して、自分なりに曲を解釈しながら聴くことの素晴らしさを生徒たちに伝えていきたい。

4 教材

- 「ブルタバ」(連作交響詩「我が祖国」より) (スメタナ作曲)

5 指導計画

情景と音楽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

- ① ブルタバの各場面の情景をオーケストラがどのように表現しているのかを聴き取ろう。――1時間(本時)
 ② 作曲者が曲に込めた想いを想像しながら聴こう。――1時間

6 本時の学習指導

(1)目標

- ブルタバの各場面の情景をオーケストラがどのように表現しているのかを聴き取ろう。

(2)資料及び準備

ホワイトボード、オーディオ、楽器

(3)学習指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点	時間
1 効果音を聴く。 ○ 波の音 ○ かっこう	○ 学習内容に入る前に、演奏を聴く態度を徹底するように指導する。 ○ 本時の学習への動機づけになるので、何を表わしているのかが分かる音素材を使う。	5分
2 「ブルタバ」の主題を聴く。 ○ 作者の名前を確認する。 ○ ブルタバ川について学習する。	○ ワークシートを用いて授業を進める。	
3 本時の学習内容と目標を確認する。 ブルタバの各場面の情景をオーケストラがどのように表現しているかを聴き取ろう。	○ 音楽からみえる情景などを感じたりイメージしたりすることが本時では重要であることを生徒に伝える。	10分
4 場面あてをする。 ○ 「ブルタバ」の主題を確認する。 ○ 標題を確認する ○ それぞれの標題の冒頭を聴いて場面選びをする。 ○ 答え合わせをする	○ それぞれの標題について、簡単に説明する。 ○ 考えやすいように一つの標題に対して音楽を2種類ながす。 ○ 理由を考えながら答えを選択するように指導する。	25分
5 実際の演奏を聴く。 ○ フルートの演奏を聴く。 ○ フルートの演奏が何を表わしているのかを考える。 ○ ホルンの演奏を聴く。 ○ なぜホルンが「森の狩猟」で使われているのかを学習する。	○ 教科書の解説などをヒントにしながら、生徒から意見が出るような声かけを行なう。	43分
6. 本時のまとめをする。	○ 本時での生徒の活動の成果を認め、生徒が次時の活動への意欲が向上するように指導する。	48分
7. 次時予告を聞く。	○ 次時への見通しを持たせる。	50分

ブルタバ(モルダウ) 連作交響詩「我が祖国」から

1年C級[]番 []

作曲者[] 作曲者の出身国[]

ブルタバ・・・[]語

モルダウ・・・[]語

1. ブルタバの二つの水源
2. ブルタバの主題
3. 森の狩猟
4. 農民の踊り
5. 月の光、水の精の踊り
6. ブルタバの主題
7. 聖ヨハネの急流
8. ブルタバは堂々と流れていく
9. ビシェフラト

◎標題にあった演奏を選ぼう

No.	標 題	記 号	選んだ理由
①	ブルタバの二つの水 源		
②	森の狩猟		
③	月の光、水の精の踊り		
④	聖ヨハネの急流		

◎今日の授業で分かったこと・感想を書こう